

せへの街づくりだ!



せの喜代の 区議会ノート



2007・春
第24号

瀬野喜代(みんなで街づくりをすすめる会代表) ホームページは【せの喜代】で検索してください

子育て・介護・環境 情報公開と市民参画で街づくり <http://senokiyo.sakura.ne.jp/>

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail: senok@kfx.biglobe.ne.jp

新星クラブは、荒川区基本構想の制定に賛成、2007年度予算を認定し、さまざまな意見要望を行いました。
2007年第1回定例区議会報告


荒川区の女性登用率低迷、全国平均以下

せの：議会等の女性委員の登用率の市区町村平均は22.5%である。荒川区は17%と平均以下なのは何故だろうか。

区：適材適所で登用している

せの：昨年9月、男女共同参画担当大臣は「2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%に」と地方公共団体、各種機関・団体に対して文書で協力を要請した。国の女性議員の割合は31.3%になっている。

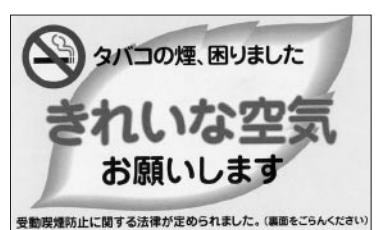
全国平均よりも低いのは、女性を登用しようとする積極性がないから。今は全国で町おこしに女性が活躍する時代である。女性の能力をもっと活用すれば、荒川区はもっと元気になる!!



- ◆全国に先駆け、非常勤職員の待遇改善
- ◆子育て支援部ができて、子育て新規事業が盛りだくさん

みんなで取り組もう!! 健康づくり

区民ひとりあたりの医療費は23区中最高額なのに平均寿命23区中22位の汚名を返上しよう。



このカードはたばこの煙で困った気持ちをお店に伝えて、分煙・禁煙をすすめるためのものです。保健所などで入手できます。ぜひ広めて下さい。

ご存知ですか・全面禁煙でない学校

- 小学校6校(24校中) 赤土・尾久宮前・三瑞・三峡・四峡・五峡
- 中学校1校(10校中) 九中

健康増進法の施行から取り組まれてきた学校内全面禁煙。禁煙教育にはぜひとも必要である。こどもたちの将来の健康を考えて愛煙家にもぜひ学校にいる間だけは禁煙に協力していただきたい。ご自身の健康のためにも…。

障がい者が暮らしやすい街は みんなが暮らしやすい街

障がい者の地域生活を支える浅野史郎さん

前宮城県知事の浅野史郎さんは施設解体・統合教育に積極的に取り組んできた。障がい者が地域であたりまえに暮らすためには、大きな施設ではなく、少人数のグループホーム等を整備し、障がいがあっても地域の学校に通って、その子のニーズに応じた教育を受けられる社会が必要である。4月からは荒川区の学校でも特別支援教育が始まり、ノーマライゼーションへの一歩を踏み出す。障がい者が暮らしやすい街は高齢者も子どもも住みやすい街である。

障がい者や女性や外国人への差別的言動を繰り返す石原都知事には、もう辞めていただきたい。



「施設解体・統合教育」の講演会にて 浅野史郎さんと

*環境保護のため、再生紙を使用しています。